

平成24年7月14日の大雨による陣屋ダム洪水調節操作の状況について

※数値は速報値であるため、今後変わる可能性があります。

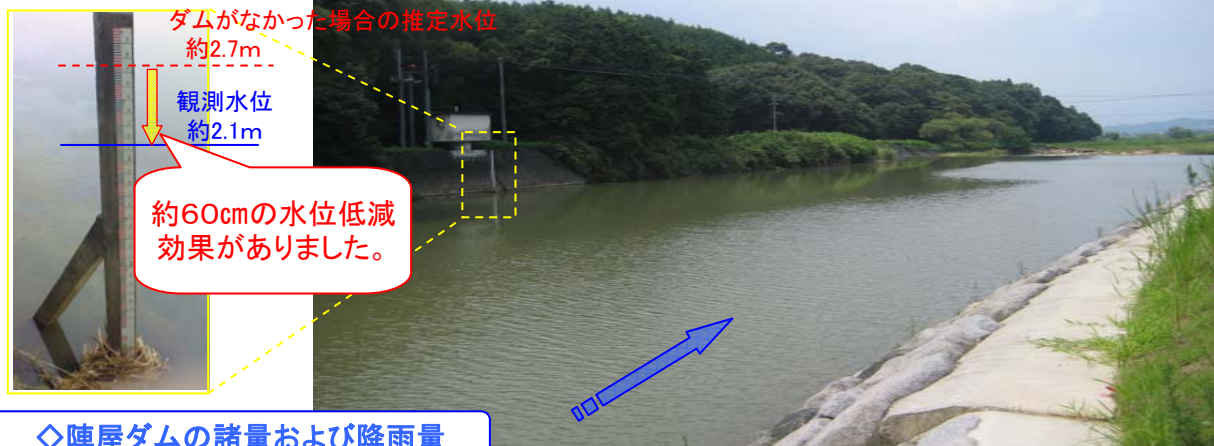
◇洪水調節操作(ダム下流河川の増水を緩和させる操作)

- ◆平成24年7月13日から降り出した雨は、梅雨前線の活発化に伴い、福智山ダム周辺では、7月13日6時から14日17時までに、累計雨量で340ミリに達しました。
- ◆陣屋ダムでは、14日5時46分に洪水量に達したため洪水調節を開始しました。
- ◆14日5時から1時間の雨量は71ミリを観測し、6時24分にはダムへの流入量が毎秒約118立方メートルとなりました。このうち、毎秒約68立方メートル分をダムに貯留することで、ダムからの放流量を毎秒約50立方メートルまで低減しました。
- ◆この洪水調節により、陣屋ダムから下流の古屋敷水位局地点では約60センチの水位を低下させたものと推測されます。

◇陣屋ダム位置図



◇古屋敷水位局地点の水位比較



◇陣屋ダムの諸量および降雨量

